

はじめのいっぽ



練馬区立向山小学校
1 年学年通信 No.3
令和 2 年 4 月 1 6 日

本日はお忙しい中、ありがとうございます。不自由な毎日だとは思いますが、1 年生の子供たちは元気に過ごしているでしょうか。新しい小学校生活にときどき、わくわくしていたのに残念だな、という気持ちもあるかと思います。しかし、少しずつ小学校の生活になれるための準備期間として、過ごしてもらえたらと思います。HP でお示した課題はできなくても構いませんが、興味をもって取り組むことや、難しくても続けていくとできることが増えることを実感させる良い機会ととらえ、ご家庭で励ましながら取り組んでください。よろしくお願いいたします。

本日お配りしたもの（1 年生の児童向けのもの）

- ①鉛筆ホルダー 2 つ（青・水色）
 - ②ねんど（へら 中に入っています）
 - ③保護者会資料・学年便り No.3（鉛筆ホルダーの使い方・ねんど・クレパス）
 - ④休校中の課題プリント（はさみのつかいかた・えんぴつのもちかた）
 - ⑤プリント（せんのかきかた①②・はさみのれんしゅう①②③④・なまえれんしゅう）
 - ⑥こいのぼり（画用紙）
 - ⑦いろいろなことにちゃれんじ
- ※HP に掲載されている「休校中の課題 1 年」も本日プリントにして配りました。

- 「はさみのつかいかた」のプリントをご覧になり、約束を確認の上、本日配布した「はさみのれんしゅう①②③④」やご自宅にあるものを切る練習をさせてください。
- 「えんぴつのもちかた」のプリントをご覧になり、本日配布した「じぶんのなまえのれんしゅう」「せんのかきかた①②」を書かせてください。
- 正しい鉛筆の持ち方が身に付くまで時間がかかるかもしれません。ご自宅で鉛筆を使うときには「鉛筆ホルダー」を付け、正しい持ち方ができるよう、見てください。学校が始まっても一つは必ず筆箱の中に入れておいてください。
- ねんどあそびを数回させてください。学校で使用するときねんどが柔らかくなっていると、扱いやすいです。（やり方は裏面で説明しています。）

この不自由な時間の中で、子供たちが少しでも楽しく過ごせることを願っています。入学式に配布したクレパス・のりなども使って、工作などもぜひ楽しんでみてください。（のりの中ぶたは取りはずしておいてください）

学校が再開しましたら、楽しい活動がたくさんできればと思っています。それまで、よろしくお願いいたします。

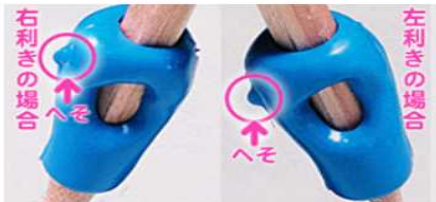


鉛筆ホルダーの使い方 (「エルプラス」HP より)



手順1

左の手のひらを上に向け、「鉛筆ホルダー」を持ち、右手で削ったえんぴつの先を回しながらゆっくり差し込みます。固定されませんので適切な位置で使用してください。



手順2

「鉛筆ホルダー」は左右兼用です。右利きの場合はへそ(突起物)を上に向けて使用し、左利きの場合はへそ(突起物)を下に向けて使用します。



手順3

鉛筆の芯を上にして、親指と人差し指を置く部分を確認してください。



手順4

親指を軽く曲げ、鉛筆にほぼ直角にあてます。



手順5

人差し指は鉛筆に添え、巻き付け、密着させたくて人差し指の先端部分が親指より下(鉛筆の先端方向)に位置することが大切です。



手順6

中指・薬指・小指は少しずつずれて曲がり、手のひらの側面と共に鉛筆を支える台になります。

「鉛筆ホルダー」を正しく持つために、鉛筆を手前に10度～30度、右に10度～20度傾けます。

【鉛筆ホルダー】を使用した当初は、子ども達から「持ちにくい」「力がいらない」などの声があがるかもしれません。鉛筆は“軽くもち・やさしく書く”事が大切です。子ども達が正しく鉛筆を持ち、楽しく学習できるよう、あたたかい目で見守りご指導ください。

- ★正しい持ち方ができたら、せんのれんしゅう①②(裏表)をやってみましょう。
- ★指や肩に力が入らないように、声をかけてください。

ねんどの使い方 すきなものをねんどでつくろう！

①白い箱（ふたと底の部分の両方）と、へらにひらがなで記名します。

★へらは油性ペンで記名してください。シールは使っているうちに剥がれてしまいます。

②ねんど板を用意します。（机を汚さないためなので、なんでもいいです。）

③ビニール袋からねんどを出します。（ビニールは、いりません）

④ねんどをこねて、柔らかくします。

<例えば…>

- ・へらで切り、体重をかけて平たく押しつぶす。
- ・平たくしたものをパンのようにこねる。
- ・棒状にのばす。
- ・丸めたりひっぱってちぎったりを繰り返す。



★やわらかくなってきたら、ねんどあそびをしよう！

<作ってみよう(例)> ★立体で立つものに挑戦！

- ・なが〜い、へびさん
- ・てのひらで丸めてミニトマト・おにぎり・パン
- ・小さく丸めたものをくっつけて、目にする。
- ・丸めたものからひねり出して、耳や鼻を作る。
- ・へらで模様を付ける。（つまようじ・ひもなど身近なものも使ってみよう）

くっつけるだけではなく、元の形からひねり出すことにも挑戦！



←耳はひねり出し

←鈴はくっつける

←へらで模様付け

こんなやりかたがあるよ。まねして、いろいろなものをつくってみよう！（同じものでも違うものでも）

★好きな動物（ねこ・ぞう・ペンギン・いぬ・くじら・さる・きょうりゅう など）

★好きな食べ物（野菜・果物・ケーキ・ドーナツ・カレーライス・ハンバーグ など）

★好きな乗り物（車・新幹線・未来の乗り物・タイムマシーン など）

<ちゅうい>

- ・おいしそうにできてもたべてはいけません。
- ・おわったら、はこのなかに入れてしまいます。（乾燥やほこりを防ぎます）
- ・かたづけたらてをあらいます。

クレパスの使い方 こいのぼりをつくろう！

<クレパスの特徴>

△	①
・細かく描くことが難しい。 →	①広いところを塗りやすい。
・描き直しできない。 →	②色を重ねられる。
・色がこすれて混ざる →	③色を混ぜたりのぼしたりして塗れる。



①広い面を塗りやすい。

小さく、細かく描くには色鉛筆が、広い面を塗る、大きな絵を描くにはクレパスが向いています。大きな紙に好きなものを大きく描けるのもクレパスの良さです。

おうちでクレパスを使うときにはダイナミックに、はみ出してもいいように、新聞紙などを紙の下に敷いてからにすると良いでしょう。

②色を重ねられる

描き直したい！と思っても消すことはできませんが、上から色を重ねることができます。また、上から重ねた後に、つまようじなど先のとがったもので絵を描くと下の色が出てきておもしろい絵になります。(重ね塗り)

③色を混ぜたりのぼしたりして塗れる。

クレパスでは色を濃く塗ったり、薄く塗ったりすることも出来ます。濃く塗ればはっきりとした色が出るので鮮やかな絵になります。薄く塗ると色を重ねてきれいな色を作ることができます。絵具で色を混ぜる感覚です。

<塗り方の例>

- ・クレパスを立てて線を、寝かせて広い面を塗る。
- ・塗った色をティッシュでこすって、色をのぼす。ぼやかす。
- ・薄く塗って色を重ねる。(クレパスにほかの色が付いたら、ティッシュでふきます)
- ★いろいろな塗り方で好きな絵を描いたり、ぬりえを塗ったりしてみましょ。

★こいのぼりをめってみよう！

- ・隣り合ううろこには、違う色を塗ってみよう。まず塗る面の外の線をなぞり、次の中を塗ります。(塗り忘れがない。はみ出にくいように。)薄く塗って色を混ぜてみてもいいですね。赤と白を薄く塗ったら何色になるかな…？

- ・先に黒を塗ると、隣に塗った色と混ざってしまうので黒は最後に塗るようにしましょう。

★どんなこいのぼりにしあがったかな。さいごにはんぶんにおっつかざってみよう！(しっぽのぶぶんをきりとってもいいですね。)

